

葛藤を抱えながら新しい生き方とともに創る
その想いが、静かに発露する素顔を描く

MY PACE + MY SPACE

ひきこもりソーシャルワーク

入場無料 (★★事前お申し込みにご協力お願いします★★)

申し込み先 ☎ 0735-32-0957 締め切り 12月16日(火)
(社会福祉法人 紀宝町社会福祉協議会)

[ドキュメンタリー／2025年／58分]

2025 年 12 月 18 日 (木) 2 回上映

昼の部 13:30～ *上映後、出演者による講演会があります。(16:00 終了予定)

夜の部 18:30～ (20:00 終了予定)

場所:紀宝町福祉センター 2 階 多機能室 (〒519-5701 紀宝町鶴殿 1074-1)

【出演】創 HAJIME-CAFE の皆さん、山本耕平(社会福祉法人 一麦会理事長)、岸本周平(前和歌山県知事)
【協力】社会福祉法人 一麦会(麦の郷)、ハートフルハウス創、meglück(めぐりゅく)、丸浅旅館(紀の川市・粉河)
【撮影協力】IL MENTO(岩出市／イタリアンレストラン)、全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in 関西(JYC 関西 2024 実行委員会)
【撮影】小原信之 古賀陽一 【ナレーション】古賀陽一
【製作】有限会社 イメージ・サテライト 【共同製作】一般社団法人 障害者映像文化研究所

監督・編集 古賀陽一 プロデューサー 中橋真紀人

【提供】イメージ・サテライト 102-0074 千代田区九段南 4-3-3-606 imagesatellite@hotmail.com



↑ 予告編動画はコチラ ↑

【あらすじ】

開設してから 10 年を超えた古民家カフェ『創 HAJIME-CAFE』は、毎週の木・金・土曜に営業——。そこで働くメンバーは、厨房での仕込みや調理、配膳の接客など、運営を手分けして行なっている。それ以外の時には、「学び」や「遊び」の取組みを行ないゲームやキャンプ、しゃべくろ会・女子会などの交流も…。夏まつりへの出店参加、年末の餅つき大会などで地域との交流もおこなう。一方、スタッフはカフェ運営と並行して、生きづらさを抱える当事者や家族の相談にも対応し、また、学校・医療・行政・関係機関などと連携して、ケース検討や情報の発信・提供も進める。

古民家という独特な雰囲気——ゆっくりとした時間が流れ、ホッとひと息つける「居場所」で、メンバーは自分のペースで様々な活動に参加し、協同の取組みのプロセスを通して、お互いの違いや共通点を見つけ、新たな自分との出会い、新たな生き方（活き方）を紡ぎ出す。

自分らしく生きること！！

世間の「普通」じゃなくてもイイんだよ！！

【かいせつ】

「不登校」の児童生徒が 2023 年度には過去最高の 41 万人超となり（文部科学省の調査）、その自殺者数も過去最高 2024 年 527 人という深刻な数字は、若い世代をとりまく「生きづらさ」が強まっていることの反映であろう。そして、「ひきこもり」状態にある人は全国で推計 146 万人（内閣府の調査／2023 年）、約 50 人に 1 人が「ひきこもり」となり、その期間も平均 7～10 年と長くなっているとの深刻な分析も出されている。学業の成績や成果が問われ、就職・結婚・子育てなどの“人生のステップ”においても、『普通』が当然とされる世間の眼は、少なくない。人々の人生を“むずかしいもの”へと追い込んでいるのではないだろうか…。自分を肯定できない不安を抱え、「自分探し」に迷っていたり、「自分の価値」を見いだせないと焦っている人々が増えている。そんな時代に、築 100 年をこえる古民家カフェで働く人々の中にカメラが入り、各々が抱える想いを聞き出していく。自分らしく過ごせる「居場所」を見つけて、おだやかな日常生活を取り戻していく様子を描き出すドキュメンタリーである。

